

平成29年度 基本評価調書(別紙様式1 施策評価関連)

施策名	豊かな人間性と社会性を育む教育の推進	所管部局	教育庁	作成責任者	教育部長 佐藤 寛	施策コード	11 - 09
		照会先	教育政策課教育計画G (内35-418)	関係課	義務教育課、参事(生徒指導・学校安全)、生涯学習課		

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

【総合計画等の位置づけ】

政策体系	大項目(分野)		中項目(政策の柱)		小項目(政策の方向性)		総合計画の指標	
		3	人・地域	(2)	北海道の未来を拓く人材の育成	C	次代の社会を担う子ども・青少年が健全に育成される環境づくり	いじめに対する意識
北海道創生総合戦略	A1421		北海道	強靱化計画		新・北海道	ビジョン	C06901,C06902
特定分野別計画等	北海道教育推進計画、北海道子どもの読書活動推進計画							

1 目標等の設定

現状と課題	<p>・いじめの問題や不登校等については、これまでも生徒指導・教育相談体制の確立や早期発見、早期対応に向けた取り組みを進めてきたが、依然として、いじめに苦しんだり、不登校となっている児童生徒が多数存在する状況にある。</p>				施策目標	<p>・未来を担う子どもたちが、健やかに成長できる環境づくりを進めるため、家庭・学校・地域社会・関係機関と連携し、いじめ・不登校の未然防止や事案に対応するための取組を推進する。 ・子どもや青少年が健全に育成される社会の実現に向け、スマートフォンなどの急速な普及による過度なインターネット利用に起因する生活習慣の乱れや健康への影響などから青少年を守るための関係機関が連携した取組などを推進する。 ・その他、子ども達の人を思いやる心や公共心、倫理観などの豊かな心を育む教育の充実を図る。</p>				
	施策の推進体制 (役割・取組等)	政策体系	役割等			政策体系	役割等		施策の予算額	
3(2)C		【いじめの問題等への対応】 [道、市町村]①関係機関が連携した地域ぐるみの支援体制の整備・充実 ②児童生徒や保護者への相談体制の充実 ③有害情報から児童生徒を守る取組の推進、④文部科学省委託事業「望ましいインターネット利用に向けた環境醸成推進事業」の実施、⑤国立青少年教育振興機構委託事業「どさんこアウトメディアプロジェクト」の実施など					H27	351,685		
							H28	365,407		
							H29	360,684		
今年度の取組	政策体系	今年度の取組				政策体系	今年度の取組			
	3(2)C	<p>◎道徳教育の充実、人権教育の充実、アイヌの人たちの歴史や文化等についての理解を深める学習の充実 ○学校・家庭・地域における読書活動の推進、読書環境の整備・充実 ○学校における多様な体験活動の推進、地域の特色を生かした活動の体験活動の推進 ◎生徒指導・教育相談の体制の充実、いじめ・不登校等への取組の充実、有害情報に対する指導の充実 ○ネット利用も含めた望ましい生活習慣の定着 ○学習指導要領に基づいた道徳教育の質の向上とその一層の充実を図るため、学校・地域の実情等に応じて主体的に行う道徳教育の取組に対し支援</p>								

<前年度意見への対応>

<p>前年度 付加意見 (二次政策 評価にお ける付加 意見の内 容)</p>	<p>【施策目標の達成状況(目標達成に向けてさらなる取組が必要)】 目標達成に遅れが見られる「いじめに対する意識」の向上に向け、関係部局・機関の連携により児童生徒自らがいじめの問題について学び、主体的に考える機会の充実など、より実効性の高い取組について検討すること。</p>	<p>付加意見 への所管 部局の対 応 (H29年3月 末時点)</p>	<p>「児童生徒仲良しコミュニケーション活動奨励事業」において、児童会や生徒会が主体となったいじめのない学校づくりを推進するとともに、「どさんこ☆子ども全道サミット」や「地区会議」を活用し、児童生徒自らがいじめの問題を主体的に学ぶ機会を確保し、意識の向上を図る。</p>
---	---	--	---

Do & Check 施策評価

1-2 取組の結果

(1) 取組の実績と成果

政策体系	実績と成果等	関連する計画等			更に取組が必要な事項
		北海道創生 総合戦略	北海道強靱 化計画	新・北海道ビ ジョン	
3(2)C	【いじめの問題等への対応】 ◎道徳教育の充実、人権教育の充実、アイヌの人たちの歴史や文化等についての理解を深める学習の充実 ふるさとへの関心や愛着、誇りを育むため、北海道にゆかりのある先人の伝記を題材にした北海道独自の道徳教材、「きたものがたり」(小学校高学年用)を作成した。(H29.5)	-	-	-	
3(2)C	【いじめの問題等への対応】 ○学校・家庭・地域における読書活動の推進、読書環境の整備・充実 ・北海道日本ハムファイターズと連携した市町村立図書館における読書応援企画展を64館で実施し、家庭・地域・学校における読書活動の充実を図った。書店や図書館のない町村の学校を対象とした読書に親しむ体験事業を21地域で実施した。	-	-	-	
3(2)C	【いじめの問題等への対応】 ○学校における多様な体験活動の推進、地域の特色を生かした活動の体験活動の推進 ・体験活動を教育課程に適切に位置付けるための研修(教育課程改善(研究)協議会)を全道6ブロックで開催(参加者1,220名)するとともに、手引きを作成・配布し、学校における多様な活動の取組の推進の充実を図った。	-	-	-	
3(2)C	【いじめの問題等への対応】 ◎生徒指導・教育相談の体制の充実、いじめ・不登校等への取組の充実、有害情報に対する指導の充実 ・スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーを配置するほか、子ども相談支援センターにおいて24時間体制の電話相談等を実施した。 ・公立高校29校を指定し、不登校や中途退学の未然防止等を図る「高校生ステップアップ・プログラム」を実施したほか、人間関係づくりやコミュニケーション能力の育成に係る調査研究「中1ギャップ問題未然防止事業」を5中学校校区で実施した。 ・子どもが主体的にいじめ問題を考える「どさんこ子どもサミット」(H28:1回)や「地区会議」(H28:22回)を開催した。	A1421	-	C06901 C06902	
3(2)C	【いじめの問題等への対応】 ○ネット利用も含めた望ましい生活習慣の定着 ・ネットパトロールの実施や「ネットコミュニケーション見守り活動」のリーフレット作成・配布また対応フロー図等も含めたガイドラインを提示し有害情報に対する指導の充実を図った。	-	-	-	
3(2)C	【いじめの問題等への対応】 ○学習指導要領に基づいた道徳教育の質の向上とその一層の充実を図るため、学校・地域の実情等に応じて主体的に行う道徳教育の取組に対し支援 ・道徳教育に関する指導内容・方法等の在り方についての理解を深めるため、小・中学校、義務教育学校、中等教育学校、特別支援学校の教諭を対象に、道内4ブロックで「北海道道徳教育パワーアップ研究協議会」を開催(約620名)	-	-	-	

(2) その他の取組の成果等		
国等提案・ 要望状況	<p>次の事項について国に要望を行った。(平成29年7月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「考え、議論する道徳」の授業を実現するため、教員研修充実のための財源措置や独自教材作成に向けた支援 ・学習指導要領及び解説への「アイヌの人たちの歴史・文化等」に関する記述の充実 ・初任段階教員研修における「アイヌの人たちの歴史・文化等に関する学習」の研修の充実 ・「スクールカウンセラー等活用事業」及び「スクールソーシャルワーカー活用事業」の充実 ・児童生徒支援加配の拡充や、教育支援センターの設置・運営にかかる補助制度の創設や教員の派遣制度の確立などによる支援体制の強化。 ・「青少年インターネット環境整備法」によるフィルタリングサービスの提供義務の対象範囲の拡大 ・SNSにおけるグループトークなど、ネットパトロールのような従来の方法では監視できない個人間の閉鎖的な空間におけるトラブル防止などの施策の推進 	<p>施策に 関する 道民ニーズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○北海道いじめ問題審議会における委員からの主な意見(H29.3) ・いじめの防止については、学校、家庭、住民、行政その他関係者との連携が重要である。 ○北海道いじめ問題審議会における委員からの主な意見(H28.6.) ・最近では、ネットパトロールの及ばないSNSなど、情報ツールが多様化していることから、情報モラル教育の充実などネット上のいじめから児童生徒を守るための取組を進める必要がある。 <p>これらを踏まえ、地域の学校、PTA、青少年育成団体、警察、教育委員会が参加する協議会を開催し、地域のいじめ・不登校等への取組に反映しているほか、ネット上のいじめから児童生徒を守るための保護者向け講習会等の取組に反映している。</p>

平成29年度 基本評価調書

施策名	豊かな人間性と社会性を育む教育の推進	施策コード	11 - 09
-----	--------------------	-------	---------

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)	Do & Check 施策評価
---------------------------------------	-----------------

2 連携の状況

(1) 施策間・部局間の連携

2-2 連携の取組状況

(1) 施策間・部局間の連携

政策体系	連携内容	連携先		取組の実績と成果
		施策コード	関係部・関係課	
3(2)C	「北海道いじめ問題対策連絡協議会」や「地域いじめ問題等対策連絡協議会」において、道、道教委、道警、児童相談所等の関係機関と連携し、いじめの防止等のための対策について協議を行っている。	N0213	総合政策部政策局総合教育推進室	・「北海道いじめ問題対策連絡協議会」や「地域いじめ問題等対策連絡協議会」を開催し、関係機関・団体と意見交換や情報共有を行い、各地域における関係機関・団体との連携強化を図った。
		N0105	総務部学事課	
		N0311	環境生活部道民生活課	
		N0404	保健福祉部子ども子育て支援課	
		N2101	道警担当課	
—	道警察、道、道教委、市町村、犯罪被害者支援団体等で構成する被害者支援連絡協議会の連携を強化するとともに、犯罪被害者に関する道民の理解を深めていくための普及啓発活動を実施するほか、命の大切さ等についての教育活動を推進する。	N0306	環境生活部くらし安全局道民生活課	・「北海道被害者支援連絡協議会」に参画し、道警察、道、関係団体等と連携強化を図るとともに、警察等の関係機関と連携した児童生徒向けの非行防止教室や命の大切さを学ぶ教室の周知・活用促進を図った。
		N2101	道警担当課	

(2) 地域・民間との連携・協働

2-2 (2) 地域・民間との連携・協働

連携内容	連携先	取組の実績と成果
各管内の学校、PTA、青少年育成団体、教育委員会、警察署等の参加による、地域のいじめ・不登校等に関する取組検討や関係機関等の連携を図る協議会の開催	学校、PTA、青少年育成団体、教育委員会、 警察署等	全管内で年2回開催し、いじめ・不登校等に関する説明、実践発表、協議等を通じて、いじめ・不登校等に関する関係機関等による情報共有のほか、普及啓発資料の作成・普及を行った。

平成29年度 基本評価調書

施策名	豊かな人間性と社会性を育む教育の推進	施策コード	11 - 09
-----	--------------------	-------	---------

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1) | Do & Check 施策評価

3 成果指標の設定

3-2 成果指標の達成度合

主①	指標名	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	C	評価年度	H28	達成度合の分析 ほか
		基準年度	H26	年度	H29	最終年度	H29					
	いじめに対する意識(小学校)	基準年度	H26	年度	H29	最終年度	H29	達成度合	C	評価年度	H28	目標値に到達していないが、規範意識を高める指導の在り方などについての市町村教育委員会や学校に対する指導助言、定期的なアンケート調査の実施、教育相談体制の充実など、いじめの未然防止の対策を行った結果、基準年度と比較するとわずかであるが、向上している。
		基準値	82.3	目標値	100	最終目標値	100	年度	H28	H29	進捗率	
【指標の説明】 全国学力学習状況調査において「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」について、「当てはまる」と回答した児童・生徒の割合		根拠計画		政策体系	増減方向	達成率の算式		目標値	100	100	100	
北海道総合計画 北海道教育推進計画		3(2)C	増加	(実績値/目標値)×100		実績値	85	-	85			
						達成率	85.0%	-	85.0%			
	いじめに対する意識(中学校)	基準年度	H26	年度	H29	最終年度	H29	達成度合	D	評価年度	H28	目標値に到達していないが、規範意識を高める指導の在り方などについての市町村教育委員会や学校に対する指導助言、定期的なアンケート調査の実施、教育相談体制の充実など、いじめの未然防止の対策を行った結果、基準年度と比較するとわずかであるが、向上している。
		基準値	70.7	目標値	100	最終目標値	100	年度	H28	H29	進捗率	
【指標の説明】 全国学力学習状況調査において「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」について、「当てはまる」と回答した児童・生徒の割合		根拠計画		政策体系	増減方向	達成率の算式		目標値	100	100	100	
北海道総合計画 北海道教育推進計画		3(2)C	増加	(実績値/目標値)×100		実績値	74	-	73.6			
						達成率	73.6%	-	73.6%			
他①	アイヌの人たちに関し資料等を活用して調べ学習をしている学校の割合(小学校)	基準年度	H23	年度	H29	最終年度	H29	達成度合	A	評価年度	H27	平成27年度に目標値を達成しており、アイヌの人たちの歴史・文化等に関する学習において、資料等を活用した調べ学習が全ての小学校で行われている。
		基準値	98.7	目標値	100	最終目標値	100	年度	H27	H29	進捗率	
【指標の説明】 アイヌの人たちの歴史・文化等に関する学習において資料等を活用して調べ学習をしている学校の割合		根拠計画		政策体系	増減方向	達成率の算式		目標値	100	100	100	
北海道教育推進計画		3(2)C	増加	(実績値/目標値)×100		実績値	100	-	100			
						達成率	100.0%	-	100.0%			

他① 指標名	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	A	評価年度	H27	達成度合の分析 ほか 平成27年度に目標値を達成しており、アイヌの人たちの歴史・文化等に関する学習において、資料等を活用した調べ学習が全ての中学校で行われている。
	基準年度	H23	年度	H29	最終年度	H29					
アイヌの人たちに関し資料等を活用して調べ学習をしている学校の割合(中学校)	基準値	96.7	目標値	100	最終目標値	100	年度	H27	H29	進捗率	
	根拠計画		政策体系	増減方向	達成率の算式		目標値	100	100	100	
〔指標の説明〕 アイヌの人たちの歴史・文化等に関する学習において資料等を活用して調べ学習をしている学校の割合	北海道教育推進計画		3(2)C	増加	(実績値/目標値)×100		実績値	100	-	100	
							達成率	100.0%	-	100.0%	

● 本施策に成果指標を設定できない理由	● 達成度合について					
	達成度合	A	B	C	D	-
		直近の成果指標の達成率	100%以上	90%以上 100%未満	80%以上 90%未満	80%未満

整理番号	政策体系	指標	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	前年度からの 繰越事業費 (千円)	平成29年度					創生 総合 戦略	強 靱 化 計 画	新・ 北 海 道 ビ ジ ョ ン	前年度 付加意見	付加意見への 所管部局の対応 (H29年3月末時点)	一次政策評価			
							事業費 (千円)	うち 一般財 源	執行体制								フル コスト (千円)	点検事項		方向性
									本庁	出先機関	人工計							付加意見への 所管部局の対応 (評価時点)	推進 事項	
0904	3(2)C		いじめ等対策総合推進事業費	・(生徒指導費(いじめ等対策総合推進事業費))いじめ・不登校等の生徒の問題行動への対応を行うため、次の事業を行う(・24時間教育相談電話・いじめ等対策本部・管内いじめ等対策本部・スクールカウンセラー活用事業・教育相談員セミナー・ネットコミュニケーション見守り活動) ・(スクールソーシャルワーカー活用事業)社会福祉等の専門的な知識や経験を有する者をスクールソーシャルワーカーとして活用し、問題を抱えた子どもに対し、関係機関等の連携や多様な支援方法を用いて課題解決を図る	参事(生徒指導・学校安全)		180,004	121,745	2.40	5.8	8.2	245,604						現状維持		
0905	3(2)C	主①	子どもの人間関係づくり推進費	人間関係を形成する力や自己表現力、他者への思いやりや規範意識を育み、予防的な観点から、いじめや不登校等の未然防止に向けた重点的な取組を行う。	参事(生徒指導・学校安全)		4,014	0	0.70	0.9	1.6	16,814							見直し検討 (指標)	
0906	3(2)C		被災児童生徒の心のケア対策費	東日本大震災により、精神的に不安を抱えている被災児童生徒に対して、心のケアを行う。	参事(生徒指導・学校安全)		3,939	0	0.10	0.1	0.2	5,539							現状維持	
0907	3(2)C		道立高校スクールカウンセラー	スクールカウンセラーを道立学校に配置し、生徒へのカウンセリング、教職員・保護者への助言を行い、生徒のいじめ・不登校等の問題行動の未然防止、早期発見・早期解決を図る。	参事(生徒指導・学校安全)		22,307	19,281	1.10	1.4	2.5	42,307							現状維持	
0908	3(2)C		いじめ問題審議会(審議会経費)	いじめ問題審議会に関する事務	参事(生徒指導・学校安全)		2,169	2,169	1.00	0.0	1.0	10,169							縮小	

平成29年度 基本評価調書

施策名	豊かな人間性と社会性を育む教育の推進	施策コード	11 - 09
-----	--------------------	-------	---------

Do & Check 施策評価の一次評価結果(各部局等による評価)

5 一次評価結果

(1)成果指標の分析

政策体系	達成度合の集計					判定	成果指標の分析
	A 100%以上	B 90%以上 100%未満	C 80%以上 90%未満	D 80%未満	- 算定不可		
3(2)C			1	1		D指標あり	<p><いじめに対する意識(小学校)[C]> ・目標に到達していないが、規範意識を高める指導の在り方などについての市町村教育委員会や学校に対する指導助言、定期的なアンケート調査の実施、スクールカウンセラーの配置、スクールソーシャルワーカーの派遣や子ども相談支援センターの設置等による教育相談体制の充実など、いじめの未然防止対策を行った結果、いじめがいけないことだという意識が高まりつつあることから、今後これらの取組を継続するとともに、児童生徒自身がいじめ等の問題行動について考える機会の充実に取り組む。</p> <p><いじめに対する意識(中学校)[D]> ・目標に到達していないが、規範意識を高める指導の在り方などについての市町村教育委員会や学校に対する指導助言、定期的なアンケート調査の実施、スクールカウンセラーの配置、スクールソーシャルワーカーの派遣や子ども相談支援センターの設置等による教育相談体制の充実など、いじめの未然防止対策を行った結果、いじめがいけないことだという意識が高まりつつあることから、今後これらの取組を継続するとともに、児童生徒自身がいじめ等の問題行動について考える機会の充実に取り組む。</p>
3(2)C	2					A・B指標のみ	<p><アイヌの人たちに関し資料等を活用して調べ学習をしている学校の割合(小学校)[A]> ・市町村教育委員会が作成した副読本や北海道教育委員会が作成した資料「ピラサ」等を活用し、アイヌの人たちの歴史・文化等に関する調べ学習が行われている。</p> <p><アイヌの人たちに関し資料等を活用して調べ学習をしている学校の割合(中学校)[A]> ・市町村教育委員会が作成した副読本や北海道教育委員会が作成した資料「ピラサ」等を活用し、アイヌの人たちの歴史・文化等に関する調べ学習が行われている。</p>
						-	
						-	
						-	
						-	
計	2	0	1	1	0	D指標あり	
	4						

(2)取組の分析

基準1 (施策の推進に当たり対応すべきもの)		対応している (○あり→対応している)	対応しているとする理由
1	計画した取組を着実に進め、かつ社会情勢や道民の要請等を踏まえた課題等に対応しているか	○	・道内においては依然として多くの児童生徒がいじめに苦しんでいる状況を踏まえ、「北海道いじめ防止等に関する条例」及び「北海道いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの未然防止や早期発見、早期解決を図る取組を推進するなど課題等に対応している。 ・アイヌの人たちの歴史・文化等に関する指導プログラムの活用を促したほか、ふるさとへの誇りや愛着を育む教育の推進を求める社会情勢を踏まえた取組も着実に実施している。
基準2～4 (施策の推進に当たり取組が認められる)		取組がある (○あり→取組がある)	取組があるとする理由
2	施策の推進に当たり、国等に要望・提案を行い、実現に向けて進捗しているか	○	・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置に係る支援や、「考え、議論する道徳」の授業を実現するための教員研修や独自教材を作成等について国に要望し状況の進捗が認められる。
3	道民からのニーズを的確に把握し、施策推進に役立っているか	○	・いじめに関する審議会や協議会に地域の保護者や子ども育成団体、町内会等の関係者にも参加していただき、道教委の取組を説明するとともに、意見を聴き、施策の改善を図っている。
4	施策の推進に当たり、他の施策・部局との連携による成果を確認できるか	○	・知事部局や警察、関係機関等を構成員とするいじめに関する連絡協議会を開催し、相互の取組について成果や課題等を情報共有し、施策の改善に反映させている。
	施策の推進に当たり、地域・団体との連携・協働による成果を確認できるか	○	・各管内でいじめに関する連絡協議会を開催し、地域のPTA団体や青少年育成連絡協議会、子ども会育成連絡協議会等に参加していただき、情報共有をしながら、施策の改善に反映させている。
判定 (基準1が「○」で、かつ基準2～4のうち1つ以上に「○」がある→a、それ以外→b)			a

(3)総合評価

成果指標の分析	取組の分析	総合評価
判定(計)	判定	
D指標あり	a	課題等はあるが引き続き推進

(4) 対応方針(次年度に向けての課題と今後の方向性)

対応方針			(関連する計画等)		
対応方針 番号	政策体系	内 容	北海道創生 総合戦略	北海道強 靱化計画	新・北海道 ビジョン
①	3(2)C	いじめや不登校等は、学校だけでは解決できない場合もあることから、社会全体での未然防止や早期解決に向けた環境整備が必要であるため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置、有識者や弁護士などで構成する支援チームの学校への派遣や、子ども相談支援センターにおける解決につなげる支援などによる家庭・地域社会・関係機関と連携した生徒指導・教育相談体制の充実に取り組む。	A1421	—	C06901 C06902
②	3(2)C	いじめ等の未然防止に向けては、児童生徒が自らいじめ等の問題について学び、主体的に考えたり、コミュニケーション能力の向上を図る取組が必要であるため、自己肯定感やコミュニケーションスキルを高めるなどの指導プログラムの調査研究及び普及啓発、児童生徒自身がいじめ等の問題行動について考える機会の充実に取り組む。	—	—	—
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					

平成29年度 基本評価調書

施策名	豊かな人間性と社会性を育む教育の推進	施策コード	11	—	09
-----	--------------------	-------	----	---	----

Check 施策評価・事務事業評価

6 二次評価結果（知事による評価）

（1）施策評価

付 加 意 見	
---------	--

（2）事務事業評価

意見区分	整理番号	事務事業名	二次政策評価意見

平成29年度 基本評価調書

施策名	豊かな人間性と社会性を育む教育の推進	施策コード	11 - 09
-----	--------------------	-------	---------

Action 施策・事務事業評価

7 施策評価結果の反映（各部局等が実施）

（1）一次評価結果への対応

対応方針 番号	対 応
①	<新たな取組等> ・委託事業者によるSNS相談窓口を開設し、生徒からのいじめ等の相談に対応するとともに、本道におけるSNSを活用した相談支援体制の構築についての検討を行う。 （新規：SNSを活用した相談体制の検討事業）
②	<新たな取組等> ・いじめ根絶や望ましい人間関係の構築について考える「どさんこ子ども全道サミット」の開催時期を、児童生徒が参加しやすい夏季休業期間に変更するとともに、全道サミットで協議した内容を踏まえて実践した各学校の取組の成果や課題を検証するため、新たに各管内において成果交流を実施する。 （子どもの人間関係づくり推進費）
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	

（2）二次評価結果への対応

意見区分	所管部局の対応	意見区分	所管部局の対応

平成29年度 基本評価調書

施策名	豊かな人間性と社会性を育む教育の推進	施策コード	11 — 09
-----	--------------------	-------	---------

Action 事務事業評価

8 事務事業評価結果の反映（各部局等が実施）

（1）一次評価結果への対応

区分 \ 方向性	見直し検討	拡 充	現状維持	縮 小	統 合	廃 止	終 了	合 計
評価結果	1 事業	0 事業	7 事業	3 事業	0 事業	0 事業	1 事業	12 事業
反映結果	- 事業	1 事業	5 事業	4 事業	0 事業	0 事業	2 事業	12 事業

次年度新規事業 (予定)
2 事業

整理番号	事務事業名	一次政策評価 結果(再掲)	H30年度の 方向性
0535	児童生徒校外体験学習推進費	縮小	縮小
0621	道徳教育総合支援事業	現状維持	縮小
0903	不登校児童生徒指導対策事業費	現状維持	拡充
0904	いじめ等対策総合推進事業費	現状維持	現状維持
0905	子どもの人間関係づくり推進費	見直し検討 (指標)	現状維持
0906	被災児童生徒の心のケア対策費	現状維持	現状維持
0907	道立高校スクールカウンセラー	現状維持	現状維持
0908	いじめ問題審議会(審議会経費)	縮小	縮小
0909	子ども相談支援センター事業費	現状維持	縮小
1019	北海道心の教育推進会議に関すること	現状維持	現状維持
1020	青少年の体験活動推進事業費	縮小	終了
1021	社会教育振興費(学校司書配置促進事業)	終了	終了